



## 会長あいさつ



会長 松田 久

発足してまだ半年ですがこの間にもいろいろなことを知ることができました。アスリートと長野の冬期世界大会へ行ったときのことで。体験プログラムで平素は体験出来ないそりに乗って滑って転んでまた滑って、嬉々として遊んだ彼らの新鮮な驚きとあの笑顔、そしてボランティアで支えて下さった方々と涙を流して別れを惜しんだあの姿こそがSOの神髄だとあらためて感じました。

少々オーバーな表現ですが、SON・岡山の発足で障害者の方々が世に出る扉が大きく開かれたと申しあげたいですね。アスリート、ファミリーの会員も発足当時の3倍以上の100人を超えるところまでできましたし、この6月からは新しく倉敷市でもボウリングの16人のチームがスタートしています。

9月17日、18日に金沢市で開催される西日本ブロック競技会へむけて、水泳とボウリングの2種目で夫々10名ずつの出場を目標にして懸命のトレーニングが続いていますし、また、来年の11月には第4回SON夏季ナショナルゲーム・熊本、さらに、07年には中国の上海市で開催される夏季世界大会にもぜひ選手団を派遣したいと考えています。心のバリアを取り払って障害のある人もない人も全く自然に手を差し伸べ合って、共に伸びていくユニファイドな社会こそがノーマライゼーション社会の在り方だと私は常々そう考えています。

多くの方々の関心とサポートがあって初めて成り立つ我々の活動ですから、SOの主旨にご賛同をいただくための啓蒙活動なども大きな役割です。市民の皆様方が自ら進んで挙って支援していただける日も、もう目の前にきている! そう思って、またアスリートの可能性を信じ、自信と誇りを持ってこの活動に全力を傾注したいと考えています。